

令和7年 12月2日

保護者の皆様へ

人間環境大学附属岡崎高等学校

校長 横山 博文

校長便り（花便り） 第11号

師走の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じ上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

本日より12月、とうとう年末の師走を迎える時期になりました。歳を重ねるごとに一年が過ぎる速さに驚きを隠せないのは、我々世代の誰もが感じることもなかもしれません。ここ数日、小春日和が続き、穏やかな初冬の時間が流れていきました。この初冬の小春日和に最もよく似合う花は、私の中では色とりどりの小菊の花です。中でも黄色の小菊は今から迎える冬の寒さをしばし忘れさせてくれる、太陽の温かみを増して目に映ります。

さて、11月末より始まった2学期末考査も、あと残すところ2日となりました。試験中の程よい緊張感が、学校らしい雰囲気醸し出すことは以前にもお伝えしましたが、この2学期末という今年の一年を締めくくる季節の意味と相まって、一層、学校らしい緊張感が伝わってきます。生徒の皆さんが、それぞれの進路目標に向けて、精一杯頑張ることを願っています。

昨日、一昨日と2日間にわたって、「人環大岡崎高校杯」という、女子バレーボールのクラブチームに所属する中学生1・2年生による大会が開催されました。もう少し言葉を縮めて言うならば、女子バレーボールクラブチームの新人戦、という位置づけです。本校の体育館を会場として、愛知県内のクラブ20チームという非常に多くのチームの参加を得て、盛大に開催された大会でしたが、とても中学1・2年生とは思えない、白熱した試合が繰り広げられ、見る人を魅了する試合の連続でした。何より、参加している選手が持つ、女子バレー独特の凛とした雰囲気と、最後まであきらめずにボールを追う気迫に、終始圧倒され続けた2日間でした。最後の表彰式で、賞状とトロフィーを渡したチームのキャプテンの誇らしげな笑顔が印象的でした。若い人の特権である、何かの目的を達成した時のあの達成感を純粹に味わっている、キラキラとした瞳でした。参加した選手の数だけ、人として、プレーヤーとしての成長の数があったことを思うと、本校が会場として果たす役割も大きな意味があるように感じられ、この大会が末永く、愛知県の女子バレーボールの発展に寄与する大会であり続けたいという思いを、改めて強く持ちました。

最後に、小春日和が続いたここ数日も、ついに今週半ばからは一気に冬の到来となるとのこと、生徒の皆さん、保護者の皆様も、体調管理に留意して、元気に過ごされることを願っております。